

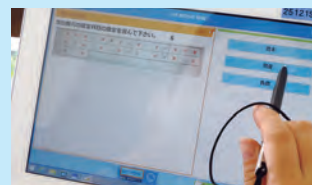
佐賀県で進む教育の情報化の取り組み

佐賀県では、現在、全県規模で「先進的ICT利活用教育推進事業」に取り組んでいますが、平成26年4月には、県立中学校や特別支援学校に加え、県立高校でも、全校で電子黒板に加えて、学習用パソコンを利活用した新しい学習活動が始まりました。導入後2年目を迎えますが、生徒たちのよりよい学習活動に向けて取り組みを進めていきたいと考えています。

学習用パソコンを使った授業の様子を紹介します



写真は、佐賀西高校の国語の授業の様子です。
この授業では、漢文の読む順番や書き下し文などを黒板と電子黒板を使って学習しています。
また、ポイントを色分けやふきだしを使って説明するなど、授業内容がより分かりやすいように工夫しています。



写真は、唐津南高校の簿記の授業の様子です。
この授業では、勘定科目の仕分の授業が行われており、左の写真では、勘定科目をそれぞれどう仕分けるか、電子黒板を使って学習しています。
また、右の写真は授業で学習した内容の理解度を確認するためのデジタル小テストの様子です。

高校生ICT利活用プレゼンテーション大会（プレ大会）を開催しました

昨年4月から学習用パソコンを使い始めた県立高校1年生を対象に、日頃の取組の成果を発表する場として、「高校生ICT利活用プレゼンテーション大会（プレ大会）」を12月に開催しました。

普通高校や専門高校、総合学科高校など15校から21グループの応募があり、授業に関わる内容を深めたものや独自の研究、自分たちが日頃考えていることなど、参加生徒の様々なテーマで工夫を凝らした、熱のこもったプレゼンテーションに、参観者からは多くの賞賛の声が寄せられました。次回の第1回大会は、さらに盛大なものになるとの感触を得た大会でした。

<最優秀賞>

受賞者：農Girls

学校名：佐賀農業高校

タイトル：命を学ぶ～ニワトリの飼育を通して～

概要：「農業と環境」の授業内容である、ニワトリの「ふ化」「と殺」「解体」を通して学んだ「命の大切さ」を、自身の複雑な心境を織り交ぜながら、豊富な写真や動画を使い発表しました。

作品は動画閲覧サイト「YouTube」でご覧いただけます。

ユーチューブ 農Girls

検索

(URL: <https://www.youtube.com/watch?v=-FRiPgIJY-A>)



県教育委員会の先進的ICT利活用教育の今後の取り組みは、今後も県教育委員会のホームページに随時、掲載しますので、こちらもぜひご覧ください。

佐賀 ICT

検索

(URL: https://www.pref.saga.lg.jp/web/kurashi/_1018/ik-ict.html)

学力向上に向けた取組の成果をお知らせします

12月の佐賀県小・中学校学習状況調査の結果（抜粋）

県教育委員会では、子どもたちの学習のつまずきがどこにあり、どのようにして改善していくか等を、より早い段階で調査するため、これまで実施していた県学習状況調査を年1回（4月）から年2回（4月、12月）の実施としました。



昨年12月に実施した学習状況調査の結果をお知らせします。

【各学年・各教科の県平均正答率】

学年	小学校4年生				小学校5年生				小学校6年生				中学校1年生				中学校2年生					
教科	国語	算数	社会	理科	国語	算数	社会	理科	国語	算数	社会	理科	国語	数学	社会	理科	英語	国語	数学	社会	理科	英語
県平均正答率(%)	67.6	71.9	75.2	68.6	73.4	66.8	68.2	65.8	72.9	68.8	64.4	70.8	72.7	63.7	46.9	54.2	74.3	69.7	56.2	44.3	45.6	59.3
到達基準	十分達成(%)	78.9	81.2	79.8	81.5	79.2	80.6	80.0	79.8	79.3	79.4	79.5	79.7	71.0	70.5	69.5	70.1	67.0	69.7	70.0	69.3	65.6
	おおむね達成(%)	58.9	61.2	59.8	61.5	59.2	60.6	60.0	59.8	59.3	59.4	59.5	59.7	51.0	50.5	49.5	50.1	47.0	49.7	50.0	49.3	45.6

※到達基準について「十分達成」は、学習内容の習得が十分であると判断される基準です。

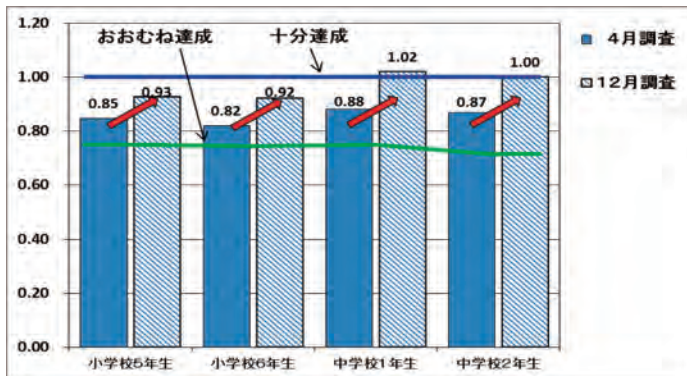
「おおむね達成」は、最低限これを上回ることが必要であると判断される基準です。

※「**網掛け**」は、「おおむね達成」に到達している教科です。「**網掛け白抜き**」は、「十分達成」に到達している教科です。

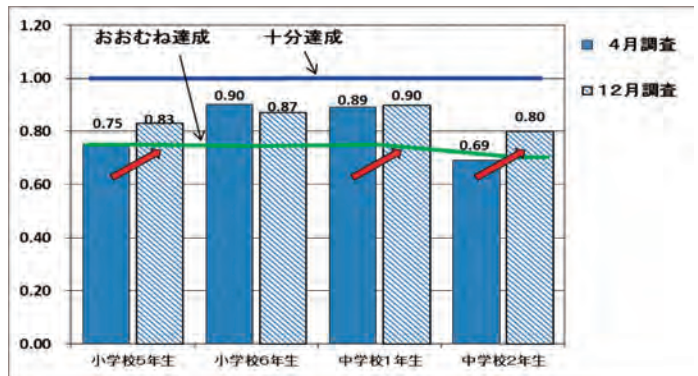
・県で設定した「到達基準」に対して「おおむね達成」の基準を上回ったのは22教科中19教科です。このうち、「十分達成」の基準を上回ったものは中1国語と中1英語、中2国語は同程度でした。

【国語、算数・数学における到達状況（4月調査と12月調査の比較）】 ※十分達成=1.00

○国語



○算数・数学



・「到達基準」をもとに4月実施の調査結果と比較すると、国語では全ての学年で、算数・数学では小学校5年生、中学校1、2年生で上回りました。

今後の取り組みについて

各学校では、今回の結果を踏まえて、指導方法等の改善に取り組むとともに、児童生徒一人一人の学力を把握し、各学年で身に付けなければならない学習内容の定着に向けて、個別指導を進めていきます。

こうした取組を通して、県教育委員会、市町教育委員会と各学校が一体となつて、学力向上対策に取り組んでいきます。

なお、分析結果の詳細については、佐賀県教育センターのホームページ (<http://www.saga-ed.jp/>) に掲載していますので、そちらをご覧ください。



いじめ防止に向けて取り組んでいます

「どの子どもにも、どの学校でも起こりうる」

いじめは、子どもにとっては最も身近で深刻な人権の侵害であり、子どもの身体や人格を傷つけ、時として死にも至らしめるものであり、決して許されるものではありません。

また、大人の軽はずみな立ち居振る舞いが子どもに悪影響を与えているとの指摘もあり、子ども社会は大人社会の縮図であることから、大人が毅然とした態度でこの問題に取り組み、社会総がかりで、いじめの防止を推進することが大切です。



県教育委員会では、以下の基本的な考え方のもと、いじめ防止に取り組んでいます。

- ・すべての児童生徒が安全・安心な学校生活を送ることができるよう、学校の内外で取り組みます。
- ・いじめは、いじめを受けた児童生徒の心身に深刻な影響を及ぼす許されない行為であることを、児童生徒が十分に理解できるよう取り組みます。
- ・いじめを受けた児童生徒の生命・心身を保護するため、県、市町、学校、地域住民、家庭その他の関係者の連携のもと、いじめ問題を克服することを目指して取り組みます。

佐賀県いじめ防止基本方針を策定しました

県教育委員会では、平成25年9月に施行された「いじめ防止対策推進法」を受け、それまで重点対策として位置付けていた①「いじめの未然防止」、②「いじめの早期発見・早期対応」、③「いじめの再発防止」の3つの取組を、さらに総合的かつ効果的に推進するため、平成26年9月に「佐賀県いじめ防止基本方針」を策定しました。

この方針に基づき、県教育委員会でも学校でもこれまで以上に関係機関等と連携しながら、組織としていじめ問題に取り組んでいきます。

<①未然防止の対策>

- ・生命を尊重する心や他者への思いやり、倫理観などの豊かな心を育み、望ましい人権感覚を身に付けさせるための道徳教育・人権教育の改善・充実に取り組みます。
- ・児童生徒の実態に応じた情報モラル教育の充実に努め、インターネットを通じて行われるいじめの防止を図ります。

<②早期発見・早期対応の対策>

- ・担任やスクールカウンセラーによる面談を実施し、いじめの早期発見に努めます。
- ・各教育事務所に配置するスクールソーシャルワーカーがいじめ問題の解決を支援します。
- ・学校いじめホットライン及び心のテレホンの電話相談窓口を設置し、いじめが深刻な事態に至る前に対応します。
- ・ネットパトロールを実施し、児童生徒がネットいじめの被害者や加害者になっていないか監視します。

<③再発防止の対策>

- ・被害生徒へのケア、加害生徒への指導及び保護者を交えた謝罪の場の設定などの適切な措置を行った後も、経過観察を行いいじめの解消を図ります。

「いじめホットライン」を開設しました

県教育委員会では、「佐賀県いじめ防止基本方針」を策定したことに伴い、いじめの問題に悩む児童生徒や保護者が相談できるよう、「いじめホットライン」を開設しました。専門の相談員が、いじめに悩む皆さんのつらさや苦しさを受け止めます。まずはお電話ください。

「いじめホットライン」

電話番号 0952-27-0051
 受付時間 365日24時間対応
 対象 小学生、中学生、高校生、保護者 等



健やかな体を育む教育を推進しています

県教育委員会では、健やかな体を育むため、学校体育、運動部活動等の充実や学校における食育の推進など、児童生徒の発達段階に応じた健康・体力づくりなど総合的な取組を推進しています。

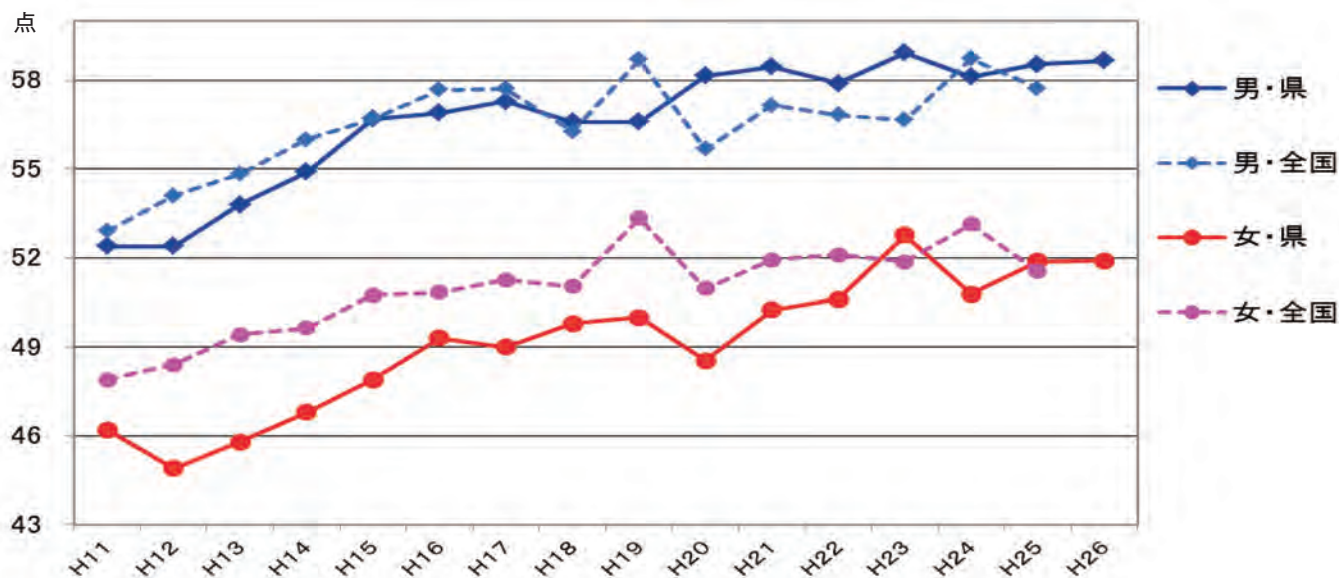
その中でも今回は、体力向上に向けた取り組みの成果をみる「平成26年度佐賀県子供の体力・運動能力調査」の結果をお知らせします。

「平成26年度佐賀県子供の体力・運動能力調査」の結果（抜粋）

県立及び市町立学校に在籍する全児童生徒（小学1年生～高校3年生）を対象に、握力や上体起こし、長座体前屈など8種目の新体力テストを実施し、得点合計（体力合計点：満点80点）で体力・運動能力の現状を把握しています。今回、その調査結果の一部を紹介します。

【高校3年生の体力合計点平均値の年次推移】

（全国出典：全国体力・運動能力調査）



- ☑ 新体力テストとなった平成11年度以降、向上傾向にあります。
- ☑ 男女ともに、前年度を上回り、また、過去最高値となった平成23年度に次ぐ高い数値です。

スポーツチャレンジについて

県教育委員会では、運動する意欲を高めたり、運動に親しむきっかけとするために「スポーツチャレンジ」という取り組みを行っています。

この取り組みは、ルールや道具の準備が簡単であることや持久力や柔軟性など体力向上につながる要素を幅広く含んでいる「8の字とび」、「ドッジボールラリー」などの7種目を県内の小学校で回数やタイムを競うものです。

平成27年3月5日には、スポーツチャレンジに最も積極的に取り組んだ学校や、各種目で最高値を記録した学級に対して、表彰式を行いました。詳しくは、公式サイトをご覧ください。



佐賀 スポーツチャレンジ